

□ トピック □ 冬によく捕まる虫

だんだんと朝晩冷え込むようになりました。この時期になると、昆虫類を見る機会も減ったのではないのでしょうか。気温が低下し、日長が短くなることで、越冬する種類は姿を消していきます。しかし、逆に冬に発生し、屋内で見かけられたり、ライトトラップに捕獲されやすかったりする虫がいます。

その例として「トゲハネバエ類」「ガガンボダマシ類」などがあります。特にトゲハネバエ類は、体長5mm前後とやや大型のハエで、屋外から侵入すると飛翔力が強いので、屋内の奥まで侵入することがあります。トゲハネバエ類は、夏は高温を避けるため涼しい山間部で、気温の低い冬は平地でよく見られます。

これからの時期は、全体的にみれば虫の個体数は減少し、ライトトラップでの捕獲数も減少しますが、低温を好む虫はこれから増えるものがあります。

虫の捕獲が少ないから安心するのではなく、この時期ならではの混入防止対策を行っていく必要があります。



トゲハネバエ類

- ・体長: 5mm前後
- ・食物: 腐敗した動植物質。
- ・発生場所: 腐敗植物質、便所、浄化槽など。

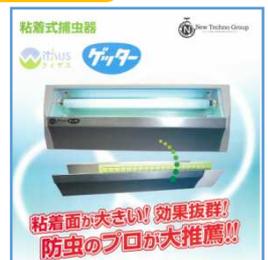
灯火などの光に誘引される。

□ お知らせ □ 大型ハエも捕獲しやすい捕虫器

屋内に侵入してきたり、屋内で発生したりした虫を捕獲し、調査するために捕虫器(ライトトラップ)がよく用いられています。これからの時期、ライトトラップに捕獲される全体の捕虫数は減少傾向になると考えられますが、トピックでご紹介したトゲハネバエ類は、冬によく見られ、侵入事例も多いため、異物として製品に混入する可能性が十分に考えられます。

高性能捕虫器「Withusゲッター」は、標準的な捕虫器と比べて照度が高く(25W×2)、機器自体の温度が高いこと、捕虫紙ホルダーや外側のカバーにより虫が逃げにくい構造になっていることから、捕虫能力に優れ、特に大型のハエやショウジョウバエ類といった、通常の捕虫器では捕獲されにくい虫も効率的に捕獲できます。また、虫が捕獲されていた場合、視覚的に捕獲された虫が見えにくいので、景観も損なわないように設計されています。

一般的に捕虫器の適切な設置場所は、捕虫効率や安全性等を考慮しなければ良い結果が得られません。捕虫器の追加、更新を検討の際は、ぜひ事前にご相談ください。



他社製品に比べ
捕虫効果が
最大5.8倍!!

やさしいな
大型のハエ類にも
捕虫効果抜群!!

捕虫された虫が
落下し飛散せず
外から見えない!!

□ 豆知識 □ 虫の知らせ

今年は、熊本や鳥取などで大規模な地震が発生しました。地震の前には様々な現象が起きることが知られています。また、昔から「虫の知らせ」という言葉は、よくないことが起こりそうな時に用いられ、昆虫類には気候の変化や天変地異の際に様々な行動をとるものが存在します。

トンボが多く飛んだあと、姿を消せば暴風が起こることが昔から知られていますが、何故多く飛んだあとに暴風や豪雨が起るかは、まだ明らかになっていません。また、アリ類は大雨が降る前に巣の出入口の穴を塞ぐことが知られています。アリ類の触角や感覚毛には感覚子(昆虫の体表等にある微小な感覚器)あり、温湿度の変化を早めに察知し、巣が洪水にならないように防御策を講じるようです。

昔から「地震の前にナマズが暴れる」などの俗説がありますが、身近でいつも見ている生物が、もしおかしい行動をしているときは、天災を警戒しなければいけないのかもしれないかもしれません。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)